



シルバー日向岬

第 7 号
 平成6年8月1日
 編集発行
 社団法人
 日向市シルバー人材センター
 〒883 日向市中町7956-9
 TEL (0982) 52-2200

■ 絶壁・柱石・20キロにわたる「柱状岩」の連続

リアス式の美しい海岸線を一望する日向岬スカイラインは、青い海原とそそり立つ断崖絶壁の大パノラマがみごと。なかでも細島灯台の下「馬ヶ背」は、谷底まで70メートルの断崖、日向灘の荒波と谷底から吹き上げる風に足がすくむほど。海上遊覧船による柱状岩の岬めぐりもまた違った眺め、このあたり一帯は、日豊海岸国定公園です。

このたび、はからずも平成六年度の定期総会において、理事長の大役を仰せつけられ、責任の重大さに今更ながら痛感しているものであります。

もとより人格識見共に未熟な若輩でありますので、会員の皆様方を始め関係各位のご協力を頂きながら日向市シルバー人材センターの発展の為に微力ではありますが、最善の努力を傾注して参る所存であります。今後共ご支援助とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

私共のシルバー人材センターも設立後六年目を迎えますが、これまでの実績を基に、より一層充実し発展していかねばならないと存じます。

平成六年度は昨年度よりも更に就業の場の拡大、新規会員の



就任あいさつ
 日向市シルバー人材センター
 理事長 田原 稀夫

増強、普及啓発、安全就業、福祉、家事援助サービス等に重点を置き、役職員及び会員の方々のご協力を得ながら、きめ細かな取組みに努めて日向市シルバー人材センターの業績の向上をはかって参りたいと存じております。

会員皆様方におかれてもシルバー人材センター設立当時の初心に返り、今一度「自主、自立、共働、共助」の理念を再認識され真に市民各位から愛され期待と信頼を受けるセンターとしてシルバーパワーを発揮して頂きたいと思っております。

又、本年度に会員の皆様が待望のシルバーワークプラザが建設されます。今後は、このシルバーワークプラザを核として、「趣味クラブ作り等」の自主事業にも着手する等、幅の広いシルバー人材センターの機能の充実に努めたいと思っております。

会員皆様方の積極的な創意工夫をお願いし、業績の向上を目指して、共に頑張って頂きたいものです。

最後になりましたが、今後とも市民から尚一層愛され、期待されるシルバー人材センターを

目指し、会員皆様方の益々のご活躍とご健康とご多幸を祈念いたし私の就任あいさつといたします。

常務理事 佐藤 保



平成四年七月、前任者の退職にともない事務局長に就任し、更に本年五月の通常総会において、常務理事に推挙されました。お引受けしましたものの日時の経過と共に、責務の重大さをひし々と感じながら毎日を過しております。

二十一世紀への本格的な高齢化社会を迎えるにあたり、これからのシルバー人材センターは急増する高齢者の方々の長年培った能力、経験とニーズに対応した多様な就業の場を確保し、生きがいのある高齢化社会の維持と、地域社会に貢献することを目指すセンターとして、今後の活動が期待されているところであります。

日向市シルバー人材センター

も設立以来五年を経過し、会員、関係皆様のご協力により着実に業績も伸展してまいっておりますが、又多くの課題も抱えております。

平成六年度は、これらの課題である会員の確保、未就業者の解消、就業中の安全確保、福祉家事援助サービス事業の本格的推進を始め、設立以来の課題である会員の生きがいと、働く拠点として、ふれあいの場としての十分に機能拡充が急がれるところであります。

これからも、シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働、共助」を再認識しながら、なお一層市民各位から愛され、期待される日向市シルバー人材センターを目指すとともに、楽しく明るく生きがいのある、いきいき長寿社会づくりの一翼を担う責任があると考えます。会員の一人一人のご協力を仰ぎながら、各課題に積極的に取り組んでまいり所存でありますので、よろしくご指導ご鞭撻の程をお願いし、あいさつといたします。

「通常総会」盛会に終る!

五月二十七日(金)、日向市総合福祉センターに於いて、出席者一九〇名、委任状提出者七八名、並びに田原助役、職安管理課長のご来賓の方、多数ご臨席いただき盛大に開催されました。林副理事長が挨拶されたのち、

ご来賓の皆様から激励とお祝いのメッセージを頂戴し、議長団に黒木利光氏、井上繁氏を選出し議案の審議に入りました。

第一号議案

平成五年度事業報告

第二号議案

平成五年度収支決算報告、監査報告

第三号議案

平成六年度事業計画案

第四号議案

平成六年度収支予算案

第五号議案

役員改選

等

の提出議案について、事務局より説明がなされ、慎重審議の上、全議案原案通り満場一致で可決承認されました。

終始、和やかな雰囲気の中に、会員各位のご理解ご協力により、無事終了したことに対し、衷心よりお礼申し上げます。



改選されました役員の方は、次の通りです。任期は二ヶ年。

役職名	氏名	住所	摘要
理事長	田原 稀夫	日向市上町8-13	
副理事長	林 賢太郎	日向市北町4番11号	
常務理事	佐藤 保	日向市比良町2丁目44番地	
理事	河野 稔	日向市大字幸脇995番地	会員
理事	板谷 慎吉	日向市大字日知屋1394番地の1	
理事	橋口 元喜	日向市美々津町942番地	
理事	黒木 潔	日向市大字財光寺6527番地18	
理事	寺原 正仁	日向市大字塩見1419番地	会員
理事	村矢 光雄	日向市大字富高160番地	会員
理事	治田 恵	日向市比良町1丁目116番地	会員
理事	森岡 健二	日向市大字財光寺2761番地の44	会員
理事	岩切 秋子	日向市大字財光寺3568番地2	会員
理事	安藤 稔	日向市浜町2丁目125番地3	会員
理事	藤田 辰巳	日向市大字富高6408番地30	会員
理事	新名 格	日向市大字平岩494番地7	会員
理事	黒木ウメ子	日向市美々津町471番地3	会員
監事	田中昭二郎	日向市大字財光寺5521番地	
監事	河野 昭一	日向市原町3丁目9番15号	

歌や踊りで

盛りあがる！

総会が午前中に終り、昼食の弁当、ジュース、焼酎の配給が始まる。昼食をとりながら雑談に花がさく。少々アルコールがまわったのか、雑談も声高になつてくる。それを見計らつてか進行係の軽快な言葉で、演芸が始まった。舞踊、カラオケ、民謡等、プログラムにしたがつて演出者が、それぞれ凝った衣装を着て、豊麗な容姿で美声で唄う。

踊る。一曲毎に拍手喝采。

会員の中から焼酎も加勢してか、「イイゾー」「もっと脚を上げろ」とか会場の声援で賑わつてくる。

どの出演者も、昔とった杵柄で若い者の顔負だった。こうした演技に会員も我を忘れて見いった一時でした。

これからも老後を楽しく、自分の趣味を生かしながら有意義な生活を送りたいものだと感じさせられました。

延岡シルバー人材センター

米田 暎美さんが

華やかに舞い

会場大爆笑！





「蝶の舞」

甲斐 ハツ子さん

「飛入り」

黒木 美義さん

「北の漁場」

谷口 寿美子さん

「玄人好みの民謡」

植木 ユキエさん

舞台あれこれ



「艶歌」

村田 サヨ子さん



「北の螢」

上原 君子さん



「美声」

藤井 寛さん



「支那の夜」

米田 咲美さん

「ただ今から抽選会を行ない
ます」。係から大きな声が会場に
ひびき渡る。理事長、局長がお
もむろに抽選箱に手を入れて一
枚取り出す。係が抽選番号を読
み上げる。「〇〇番の人は前に来
て下さい」。

当たった人は、どうしたものか
急いで賞品のところまで行く。
係から「そんなに急いで出なく
てもよいですよ」との注意があ
る。抽選番号が当たった時の心境
は誰も同じだろう。一瞬ヤッタ
ーと思いき急ぎ脚になるのは仕方
のない喜びの表現だろう。

大きな包装紙の賞品が手渡さ
れる。皆拍手をする。会場から
「ウォー イイナァー」

「中身は何じやろかい？」

その都度どよめきが出る。山
積にされた賞品もだんだん少な
くなっていく。まだ当たっていな
い人のあせりが伝わってくる。
「カラーマチットませくらんか
ー」の声が会場からかゝる。

このようにして抽選会が行な
われて楽しい一日でした。

幸運は誰に!

(抽選会)



「当たったー!!」「おめでとう」



「次は、何番かな!？」

楽しかった会員研修旅行

富高A地域班

富山 ユリエ



梅雨も明け、あじさいや葵の花も終り、今はダリヤの大輪やききょうが我が家の庭に咲きほころ、水分をほしがっているのは、私達人間だけではないようです。

シルバーに入会して一年が経過。おかげさまで週三日は仕事に行っています。私には丁度いい程度の仕事です。そして仕事が終わる日は、息抜きに好きな洋裁、花いじり等して体が一つでは足りないくらい忙しい毎日をおすごししています。シルバーと言うには、まだ少々早い六十前ですが、仕事に意欲をもやしています。先立ってヘルストピア延岡に人生の先輩方と研修旅行に行き、一日を楽

しく過ごして仕事の疲れも忘れ、命の洗濯をして来ました。そして、又、翌日からは仕事に、趣味にと暑さを吹き飛ばし乍ら頑張っています。シルバーの仲間の皆さんもそれぞれの仕事に元気で頑張り、暑さを乗り切りましょう。

ヘルストピア延岡 研修旅行を振り返り

平岩地域班長

田村 広 繁



本年六月二十二日午前九時、日向市シルバー人材センター事務局前に集合。事務局の兵頭係長外三名、会員男性四名、女性三十名、総員三十八名をヘルストピア延岡のマイクロバスにそれぞれ分乗し、目的地に出発しました。

約四十分位バスにゆられ到着しました。到着しますと、当店の大広間で責任者から詳しく店内の状況などを聞いて、受付より入浴用のタオル等と衣装箱のカギを受取り、三階の浴場に入

り、汗を流して一階に下って温水プール、流れるプール、遊技場、土産品の売店を見学している中にお昼近くになりましたので、一階の宴会場に入りますと昼食とお魚等の料理が山盛席上に並べてありました。やがて岩切秋子さんの音頭のもとに「かんぱい」しながらビールを飲みました。とてもおいしく空き腹にしみこみ、身心共すっきりしました。

宴会も食事を半ばにして、それぞれのもち味を聞かせて貰いました。特に女性の方が多数得意の歌を演出されて、歌手以上の方が多いいには大変びっくり致しました。私はうっとりさせられました。私も飛入りをしました。私が、思うようになりませんでした。最後に、やっとの思いで満足の花が咲いて、正直に申しあげますと「ホッ」といいたしました。

最後に、日向音頭の踊りが出ましたが、私には踊りも歌もできないので、手をたたくて見られていました。そのうちに時間がきて終りとなりました。お互いの健康と幸せを願って万才三唱をとなくて散会し、帰途につ

きました。

なお、兵頭係長さん外、三名の事務局の皆さんには色々大変お世話になり、ありがとうございます。

最後になりましたが、会員の皆さんも私と同じくヘルストピアは初めての方が、たくさんおられたと思います。いよいよ夏本番に入りますので、事務局長さん、事務局職員の皆さん方のご健康を心からお祈り致します。



研修旅行感想

日知屋本郷B地域

新田 嶺一



一泊コース垂玉温泉旅行に参加その雑感、参加者七十数名は三台のバスに分乗、街の雑踏を離れ、車窓から緑の山々を眺め、雄大な阿蘇山麓の山路を登り、静寂が時を包む山合の杉木立に見えかくれする一軒宿「山口旅館」に到着、豊富な湯量と良質な名湯で疲れた体をホグシ……メインは夜の宴会、自慢のカラオケや婦人部の仮装舞踊等で、拍手喝采、盛会で時の経つのも忘れ、実に楽しい一日でした。このことは会員の意識高揚と相互連携と親睦とを深める研修目的が十分に活かされたと思います。次もぜひ参加したい。



垂玉温泉記

寺原典子



バスはへやピンカーブを縫う

ようにして聞くのをはじめ、行くのをはじめの垂玉温泉へと登って行った。両側は文字通り緑一色の照葉樹林である。眼下には所々杉が形良く背くらべをしているように茂り時々合歓木の花のピンクが心をなごませてくれる。

やがて予定より三十分程早く山口旅館に到着した。

私達の部屋は「うぐいすの間」でベランダから裏を眺めると、これぞまさしく深山だ。滝の音と湯煙りに「ホッ」とする。宿の従業員の話によると、山口旅館は建てられて百五十年になるとのこと。此の温泉は今から二百数十年前に旅の修業僧に発見され「垂玉寺」と云うお寺があったらしい。今はそのお寺はなくなったそうだ。

「夜はかじかが鳴きますよ」と云っていた。宴会前には天の湯で汗を流し就寝前に今度はかじかの湯に入った。珍しい桶風呂で昔の五右衛門風呂を思い出した。夜も次第に更け床に就く頃になると静寂の中で「とうとう」と流れる滝の音が耳に入り丁度大雨が「ザア」と降っているように感じた。

私は枕が変わると眼れない性分で目を閉じていても頭は冴えてくるばかり、その時滝の水音と共にかじかの鳴声があった。ルル・ル・ル・と、しばらく間を置き再びルル・ル・ル・と繰り返えされる。それは一寸物悲しい感じがする。

私がまだ少女の頃(もう五十年前)も前に父と山登りをした時かじかの鳴声を聞いたのである。「あれがかじかの声だよ、かじかは清流にしか棲まない蛙だ」と教えてくれた。

当時の父の年より私はまだ年を重ねて、今こうして聞くことが出来るのは夢のようである。戦中戦後と苦しい時代生き亡くなって行った父や母の思い出が、走馬燈の様に浮んで来た。

現代の私達は本当に幸せだ。シルバーになっても元気でさえいれば仕事をしたり旅行をして楽しい毎日を送ることが出来るのだから。

お互いに健康を保ちつ、大いに頑張りましょう。

何と云っても一番美味しかったのは深山の空気だったように思います。

原尻の滝にて



稲精水中鍾乳洞



白川水源にて

「夜の宴」シーン」



旅のひとりごと

● 唄なんかより映画が大好きな人と、マイクだけは放したくない人が、同じバスで旅行をする。人生もまた楽しい●今年も佐藤事務局長さんと、ご一緒のバスでした●九州の温泉ならと自慢をする友人も、垂玉温泉だけは、まだでした●乗り物酔いが心配でしたが、道路もバスも良くって、楽しい旅でした●行き先も部屋割りも、あとから文句をつけるのは簡単です●決めるのは大変でしょうね●その辺の苦労話を、ぜひ聞かせて下さい●運転手さん、安全運転をありがとう●一万三千円プラス三千円って、安いのか？それとも、高いのか？出来たら、内訳を教えてください●山菜料理も川魚も、旅のご馳走には違いないが、こう続くよね●実は、川魚は苦手なんです●ヤナで鮎料理を二人分食べたのは、誰だったかしら●我が家の米の味は、まんざらでもない●どこの土産物も、同じに見えるんだと●あらっ！ここに

の方が安いっわよ●それにしても、何にも無い温泉でしたね●しかし親睦を図るには、最高の場所でした！●滝の音は、どうすれば止まるの。主人のイビキなら、鼻をつまめば簡単です●こんな所へ、トウチャンと二人きりで来たら、大変だと思いきり●今度は、カアチャンと二人きりで来ると言ったら、悪い酒だと言われた●「五足の靴」の碑があったから、昔は、あの宿まで歩いて登ったの？●お喋りとアルコールと買い物、それにとイレ。よく飽きない？ものですね●なぜか、全員が写っている記念写真がない●横幅が広いから、ワイドカメラでない●皆さんのお顔とお名前が、なかなか覚えられません●私なんか覚えるのはヤットで、忘れるのはサットです●予報では、雨が心配でしたが、カサが荷物になりました●外れて残念でした●そう言えば、あの雨男が来てなかったが、どうしたのだろうか●「お疲れさま」は禁句でした。では、お元気で……●

南阿蘇「垂玉温泉」の旅

7/25 7/2

◆旅はみちづれ「仲間づくり」!!◆

高知B地域班

河野利秋

会員の皆様からの一泊旅行に事務局の温たかい心づかいのもとで車に乗り、なごやかに山口旅館に着きました。夕食をしながら歌や踊りで会員の交流を深めました。みな様方の健康を願ひ、今後共ご協力をお願いします。最後にありがとうございましたが、事務局の皆様方には大変お世話になりました。

日知屋枝郷B地域班

海野直

九時出発。三台に別れ出発する。宇目ドライブインで休み、車中の人となり、ふと山の中腹に観音様の銅像が目にとまり清められた感じがした。鍾乳洞にて見学。目的地到着、露天風呂に入り汗を流す。只、耳に聞こえるのは川のせせらぎの音。思い出多い研修の旅でした。ありがとうございました。



日知屋本郷A地域班

黒木和子

先ず、快晴に恵まれて良かった。大浴場、かじかの湯、露天風呂と三回も心ゆく迄つかり、幸せだった。旅館も隅々にさりげなく、活けてあった美しい花清々しい浴衣と縞の半纏の着心地良さ、山鳥の名前をあしらった部屋。その心遣いに感心させられた。

女性部会の
発足について

細島地域班

甲斐ハツ子



シルバー人材センターの会員として早や四年になります。其の間、色々経験する事も多く、人間関係の偉大さも感じました。顔見知りもたくさん出来ました。顔見知りだけでは物足りませんが、顔見知りだけでは物足りません。今後、女性部会を発足して皆様と親睦を深めて老後の生がいを充実して行く事を願っています。

三号車だけが知っている。万十うまかったね。何の話。ナイショく掴むものは、どこにでも有るもの。唄の中から話の中から健康かぞえ唄から十の健康ツボを知り、五ツ木の子守唄からは万で家が建つと云う。でも、あの千円は安かったね。綴り方では親のやさしさ(遠足の準備)そして少しでも親に近づきたいと思う子供の気持、よくでていましたね。とても良いシルバー旅行会でした。行くよ、待ってよ、三号車。特だね、掴んで行くう行くういっちゃった。

去る三月十一日、日向市総合福祉センターにて、女性部員の研修会があり、講師主任ヘルバ―桑田安恵様の高齢化社会、家事援助サービスの力強い熱演をされました。其の場合、いかに私たち女性部員が重要であるかを知りました。人間、やってやれない事はないと高齢化社会において仕事するのは大変だと思えます。まず、体力づくりに努力して

女性部の誇りを持って一日も早く達成したいものです。そして、「ヤルゾー、ヤルゾー、ヤルゾー」の氣勢をあげたように、事務局職員の方々、私達女性部員一丸となって達成しましょう。最後に私の大好きな「女の一生」の一節を書きます。

「女の一生」

二十代は美しく、三十代はかしこく、四十代は強く、五十代は豊かに、六十代は健やかに、七十代はなごやかに、八十代は愛らしく。

役員意見交換会に参加して

財光寺D地域班長

森岡健二



県シ協主催による表記交換会が、平成六年六月二十三日(木)、宮崎市「魚よし」に於いて開催され、日向市シルバーセンターより十一名の方が出席しました。主催者挨拶のち来賓あいさつとして、宮崎市職安の佐野氏、

つづいて宮崎県みやざき長寿社会推進機構、内田氏の挨拶、話の中で健康生がい作り、生涯現役とは死ぬるまで社会のために役に立つことである、などの有意義な話がありました。

体験発表についての司会者に延岡市シルバーセンターの柳田氏が選任され、発表者には、

(一)「職群部活動に対する役員としての役割と活動状況について」と題して、宮崎市シルバー人材センター

外山義明氏

(二)「安全対策推進に対する役員としての役割と活動状況について」延岡市シルバー人材センター

宮村正敏氏

(三)「広報活動・事業開拓に対する役員としての役割と活動状況について」都城市シルバー人材センター

山本都記盛氏

以上三名の発表がなされた。(二)の発表の中で職群班植木部会の内容について、班編成・構成・部会員のランク付・組織・運営・今後の課題と話され、特にランク付について細分化されるなど運営の難かしさを感じまし

た。他の二名の方の発表も、日常センターの役員として前向きに努力しながら活動している姿が感ぜられ反省させられる面もありました。三名の方の発表が終ってから質疑応答があり、場所をかえて懇親会、食事をしながら県内の同志役員との交流会があり閉会となりました。

県シ協の全体会は年に一回なされているようですが、各センターが総会を実施しているように県シ協そのものの年間の活動状況・計画・収支報告・予算などについて合せて実施して頂くよう要望致します。

別府シルバー交流研修に参加して

富高A地域班長

村矢光雄



去る三月十七日、別府市シルバー研修会に参加させて頂きました。その時の感想を少しのべさせてもらいます。湯の町・別府市と日向市とは、

人口や市の発展等に就いても大きく左右される様なイメージが頭にあったので、職員との応対や質疑等について車中で色々空想していました。

我々の時代なら誰もが一度は経験した事と思います。秋の祭には必ず芝居が付き物で、一幕が終り二幕目には、はでな斬狂言と、お客様の興奮と夢を別な世界へとつれて行く。

芝居と同等に考えては大変失礼とは思いますが、先方は局長一人で職員の姿は無く、局長の一人舞台で構成や仕事面での詳細に説明があり、貴重な勉強になりました。

会員数や就業率等比較して見ますと、日向市の方が遙かに大きく伸びている現状なので、胸中ホッとしました。一寸、倉庫内をのぞいて見るに備品の豊富さ、整頓についても日向の方が良く整理されていると思えました。その点に就いては、職員を始め会員の心構えが如何に大切か、つくづく考えさせられました。

会員の皆さん、又、逢える日まで御元気で。

会員のひろば

美々津地域班

黒木 ウメ子



シルバー会員になって五年になります。その間、仕事を生甲斐の一つとして、多くの友人も増大、明日への希望も湧いてきました。

今は五人の子供は、各々家庭を持ち、私は、長男と同居しており家の仕事は長男夫婦にまかせ、シルバーの仕事を楽しみにしており仕事の要望があれば何はさておき、すつとんで行き、草取りおえて帰り道すがら綺麗になっているのを見て、嬉しくなり、人様の喜びの声を聞くと疲れも吹きとんでしまいます。それも主人を亡くして二十年になり、朝は一日の無事をお願いし、夜は一日の出来事を報告するのが日課です。そのせいか健康に恵まれ感謝の毎日を送っています。今は美々津の班長、

婦人部の大役をおおせつかっていますが、及ばずながらお役に立ちたいと願っています。皆様の心のふれ合いを大切に頑張っていく覚悟でございまして、何卒御協力をお願いいたします。

こんな健康法

財光寺A地域班

佐々木 寛次郎



月に一回は、カラオケで大声を出して、ストレスを発散しますが、マイクに慣れると、つい人前でも唄いたくなるのが、この健康法の欠点です。

唄い出すまでの満足感は、最高ですが、緊張して普段の声は出ないわ、カラオケボックスのように響かないわでは、唄う方も、聞く方も大変です。

これでは、お互いの健康にも良い筈はなく、ストレスだつてたまるばかりです。その上、浮世の義理で拍手をと頼まれても焼酎のコップが手から離れませ

ん。

知人のSさんの話では、誰もが唄う唄を普通の人よりホンの少し上手に唄うのが、拍手を沢山頂くコツだそうです。そう云えば、Sさんは人前では長良川艶歌と、ささんかの宿しか唄わないそうです。

その点、シルバーは流石だと思えます。皆さんを十二分に楽しませた上に、少しはご自分も楽しむ、余裕の唄と踊りばかりで、改めて感心しました。

こんな楽しい会合なら、出席しただけで、誰だって、少なくとも一年間は健康です。間違つて、舞台上に立とうものなら、三年間は健康で過ごせるのではないのでしょうか。

今回、出演の皆さん、本当にご苦労さまでした。次回のお演予定の皆さん、あなたの美声と艶姿を待っています。

余談になりますが、会合はキチント出席しますし、カラオケでは春夏秋冬で、大声を出しています。だから？ 健康です！

働くよろこび

財光寺C地域班

若本 セツ子



今日は文化センターの清掃の仕事に行く日だ、朝の目覚めも心地良い一日のスタートが始まる。七名のメンバーもローテーション方式なので、毎日が同じ人ではありません。当センターは床面積がとても広く「ワックス」をかける仕事の日は全員の顔が揃います。全員が一丸となつて汗をかきながらポリッシュャーを使う人、モップで拭き上げる人、それぞれの持ち場を一生懸命に磨き上げます。ピカピカに磨き上げた床をみて、全員が充実感に満ちた表情で、にっこり顔を見合わせて働ける喜びを味わうひとときです。又、昼食事には手作りのご馳走を食べながら、楽しい語らいのあるなごやかな私達です。もっぱら私は頂くばかりで、お料理上手な方々ばかりで、これも又、良きメンバーに恵まれたおかげです。



いつも私は教えられる事ばかりです。人の和とは何て素晴らしい事でしょう。これも当センターの職員の方々を始め、シルバー人材センターの職員の方々のご理解の上に身をゆだね、私もシルバーの一員として働く事や、趣味等楽しみながら健康に気を付けて、今後、人の和を大切に頑張っていきたいと思いません。

憶うこと

日知屋本郷A地域

柳田京子



或る日の朝、バスの中での会話、「今日は何処行きね」

「眼医者に行きよつとこよ」

「足はもうなおつたとね」

「まだ病院へ通いよるとよねエー、年を取るといいことないわね。口ばかり達者になってー。若け頃は飯食べる間も惜しんで働きよつたつちやがなあー」

聞こえて来る話にも全く同感でした。皆が行く道、通る道

だけど本当にどうしようもない気持ちで一杯でした。勤めを辞めたらあの本を読み、この本も読みたいと買って並べているだけで一向にらちがあかない。自分なりのスケジュールは立てているが、あまりうまくいってない。時には伏兵に悩まされて通院の有様。昔は「日進月歩」と云う言葉があったが、今は「秒進分歩」と云うスピード時代。すべてが慌しく変り行く世の中、頑張らなくてはと想う。でも、先ず健康であり、この体の老と心の老とをどの様に結びつける事が出来るか、それを考える事が大切だと思う。そして、この人生に自分で自分の心にピリオドを打たない様に生きて行きたいと憶う。

一は健康。二にチャレンジ。

三は楽しいシルバーの輪をモットーとして。



梅雨の晴間に

日知屋本郷A地域班

岩切 安太郎



去る六月十五日に、

第二回会員親睦ソフトボール大会が塩見運動公園のグラウンドで行なわれた。明日の大会は昨夜末まで雨で中止になるのではないかと思っていたが、嘘の様に晴れて絶好の日和になった。

チームの色分けが赤、青に分けられて、小生は昨年と同じく青チームとなり、先攻で試合が開始された。

我がチームが二点先取したものの赤チームから三点取られて、リードを奪われ、昨年のように大差で負けるのではないかと思った。でも勝敗は二の次で、親睦を計るのが第一だからと自分に云い聞かせ、精一ばいプレーをして楽しもうと思いい直した。

小生のポジションは二塁で、球がよく来るのではないかと、ダブルプレーが出来るのか知らず、ミスをしたらどうしようとか不安でならなかった。

でも親睦を計るレクリエーションだから、どうしても球に喰いついて行こう。

全身全霊で立ち向うと考え直したら、不安がふっ飛び勇気が沸いた。一回裏の守備の時だった。一、二塁の中間点にいて、ショートのところは球がゆるやかなカーブを描いて、飛んで来た。ショートを見ると退り過ぎていて間に合わないようでしたので、小生が走りキャッチした。落したかと思っただが、グローブの先に納まっていた。

我乍ら驚いた位で応援席からの拍手で我に帰った。

それに気を良くした小生は、三回表で初めてのランニングホームで一点を入れた。

スコアボードを見るたび、その一点が光って見えた。試合は七回まで進み、十点以上の差がついたので、コールド負で試

合が終わるのではないかと思っていたが、まだ十時が少し過ぎたところで昼までたっぷりあり、まだ十回戦あると云うところで続行されることになった。

ソフトボールの十点差は、逆転することが出来るから頑張っ
て見ようやと気合いを入れる事
になって、ショートの事務局の
兵頭さんが入ってから、だん
だん点数が加わり、三点差に追
い上げて休息に一息入れて十一
時半頃再開となって、十七回戦
の最終回では、二点入れられた
ので負けるのではないかとヒヤ
ヒヤしたが、二点で済み一点差
の逆転勝ちで終わった。

試合中、我がチームの一人が
段々ルールが解って来たとか、
どうしてもバットを振りたくな
るので、等々の終始和気あいあ
いの楽しい会話でなごやかな雰
囲気のうちに大会を終りました。
藤田さんが転ばなければと気
にかかっていまして、一塁に走
り行く後姿に祈っていたり、全
員が怪我する人もなくて、気分
が快いのか闘志が沸いたと云う
のか、春と秋年二回位あっても
良いなあ?とか、延岡のシルバ
ーとも交流試合をして見ようか

との声が出る始末になって、全
員が気色満々になって盛上って
いたようでした。

昼食に焼肉パーティーとなって
程よい運動で腹をすかしている
せいも、とても美味しく握り飯
二つも食べて皆喜んで食べてい
たようでした。

次の大会が待遠しい楽しみに
しています。 以上



短歌

日知屋枝郷A地域班

金丸 クニエ

草取りの流れる汗に

輝しくれ

▼会員逝去のお知らせ

直野 テルカ様 (73才)

(日知屋本郷A地域班)

平成六年七月

永眠されました。

心よりお悔み申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

事務局だより

シルバー人材センターの
だんぜん有利!

年金積立貯蓄制度

【制度のメリット】

- 一、組織の力が活かせる有利な制度
- 二、毎月一万円から加入できる「年金積立貯蓄制度」
- 三、中途での脱退の場合には魅力ある一時金
- 四、二十%の利息課税はありませんので受取り額は有利です。
- 五、掛金は一般の生命保険料控除の適用を受けられます。
- 六、口座振替で無理なく、手間なく積み立てができます。

【毎月10,000円を積み立てた場合の受取り額】

積立期間	積立金合計	シルバー年金制度	銀行の積立貯金	郵便局の積立預金
2年	240,000円	238,600円	242,800円	245,000円
3年	360,000	365,500	366,800	370,600
4年	480,000	497,700	492,100	498,500
5年	600,000	635,400	619,400	628,400
10年	1,200,000	1,418,900	1,280,800	10年積立では無し

※シルバー年金の受取り額は将来の経済情勢で上下することもあります。
※利率は平成6年6月現在で税引き後受取り額です。

編集後記

平成六年度盛夏となりました。会員の皆様にはいかがお過ごしですか、シルバー日向岬第七号の発行にあたり皆様より多数の原稿をお寄せいただき有難うございました。

今回は六月下旬に会員福利厚生親睦研修旅行「日帰り、一泊二日」がありましたので、記載の都合上、八月一日発行となりましたことご了承下さい。

来る九月度の理事会で最終決定するのですが、五つの専門委員会組織が具体的に発足致します。これに伴い今までの専門委員が改選されます関係上、私達会報編集委員も第七号が最後となります。三年六ヶ月の長期に亘り会員の皆様のご協力のもとでどうやら発行致すことが出来ました。紙上をかりまして厚く御礼申し上げます。

引きつづき第八号以降は新しい委員の方で会報発行することになります。会員の皆様どうかご支援とご協力をお願いいたします。

「編集委員」

治田 恵・椎葉ハツノ 森岡 健二